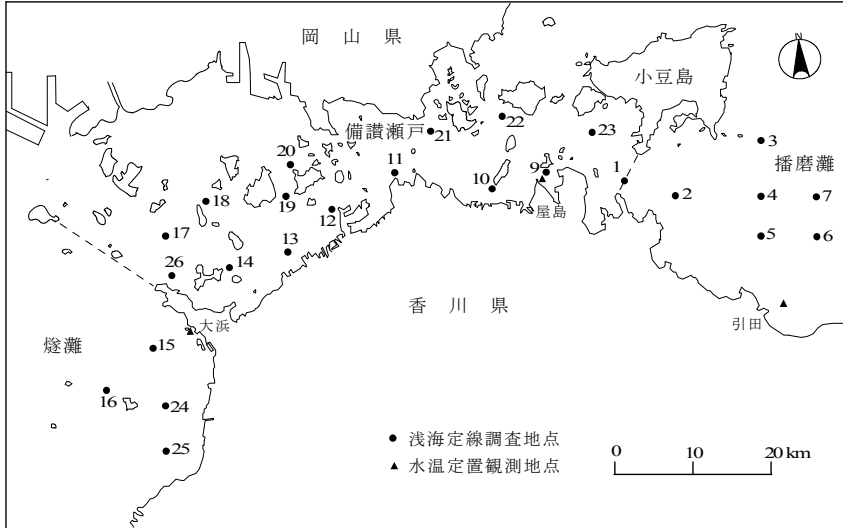


香川県漁海況情報 平成23年1月 (H22-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成23年1月7日（備讃瀬戸，燧灘），6日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並み」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「平年並み」であった。

1月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	12.0	12.0	11.9	32.6	32.6	32.7	8.8	5.90	5.89
	平年値	12.5	12.4	12.4	32.5	32.5	32.5	7.7	5.96	5.92
	平年偏差	-0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	1.0	1.0	1.1	0.6	0.6	0.6	1.9	0.23	0.25
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	11.7	11.7	11.7	32.9	32.9	32.9	4.3	5.98	5.96
	平年値	11.9	11.8	11.8	32.6	32.6	32.6	5.6	5.96	5.97
	平年偏差	-0.1	-0.1	-0.1	0.3	0.3	0.3	-1.3	0.02	-0.01
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6	1.6	0.25	0.24
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	12.6	12.6	12.6	33.1	33.1	33.1	5.4	5.94	5.88
	平年値	12.5	12.5	12.6	32.8	32.8	32.9	7.5	6.05	5.93
	平年偏差	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2	-2.1	-0.11	-0.05
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	2.0	0.27	0.20
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温，塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶 存 酸 素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は，毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ ：標準偏差)

やや高め（やや低め） $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め（かなり低め） $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め（著しく低め） $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

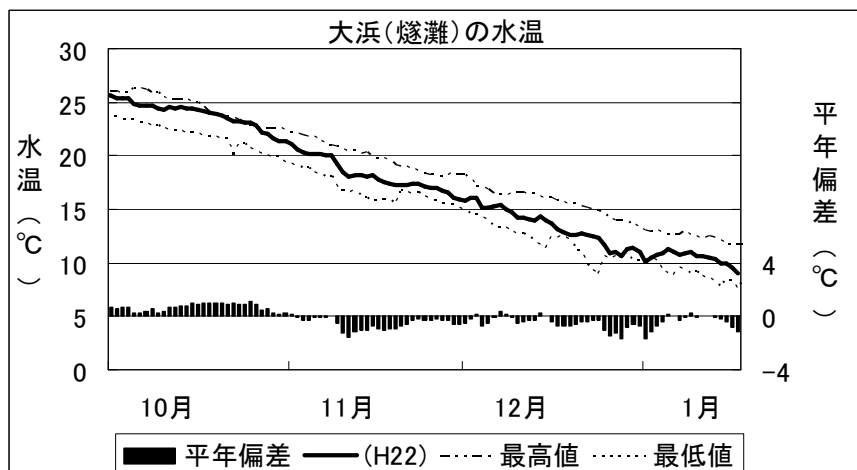
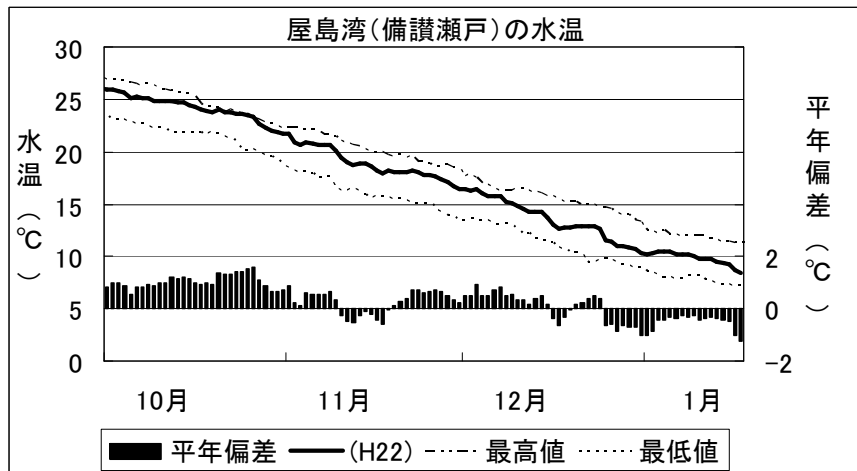
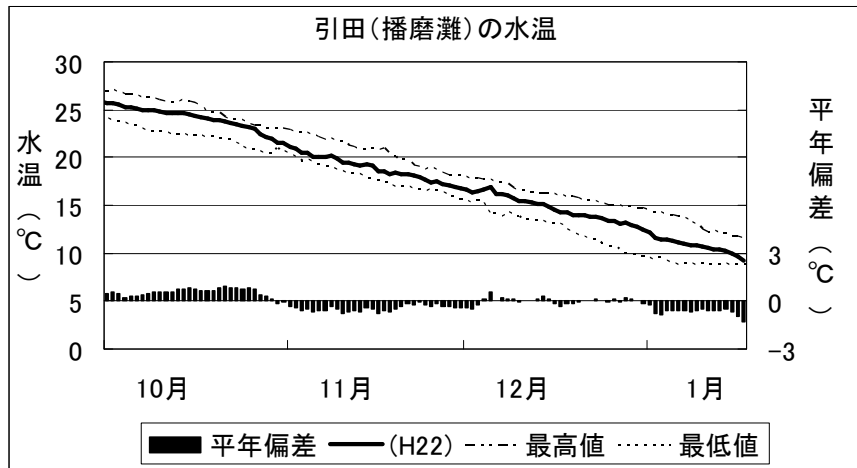
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 10月は平年並みからかなり高めの間で推移していたが、11月は平年並みからやや低め、12月はやや低めから平年並み、1月は平年並みからやや低めの間で推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 10月はやや高めから著しく高め、11月は平年並みからやや高めで推移し、12月はやや高めからやや低め、1月は平年並みからやや低めで推移している。(10月下旬に1日、過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 10月は平年並みからかなり高めで推移していたが、11月は平年並みからかなり低め、12月は平年並みからかなり低め、1月はかなり低めからやや低めで推移している。(10月中旬に1日、下旬に3日、過去最高値を更新。1月上旬に1日、過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (12月25日～1月20日)

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年1月7日（備讃瀬戸，燧灘），6日（播磨灘）

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年（1980）度～平成21年（2009）年度

マイワシ：平成6年（1994）度～平成21年（2009）年度

イカナゴ：昭和56年（1981）～平成22年（2010）年

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8
	平年値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	2.6		
	対平年(%)	-	0	-	0	-	0		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	4.9		
	対平年(%)	-	-	0	0	-	0		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.1		
	対平年(%)	0	0	0	0	-	0.0		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	3.5		
	対平年(%)	0	0	0	0	-	0		

カタクチイワシ，マイワシの卵，イカナゴの稚仔は，確認されませんでした。

2. 漁況

12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、シロギス、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、オニオコゼ、カワハギ、マアナゴ、ナシフグ、タイラギ、アカニシが漁獲されている。また、マダイ、マアナゴは好調、メイタガレイ、ナシフグ、ヒラメは前月より増加傾向、ウシノシタ類、タイラギは低調、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>建網では主にクロダイ、カサゴ、アイナメが漁獲されているが低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ(小)、ヒラメ、メイタガレイ、コウライアカシタビラメ、フグ類、マダコ、イイダコ、アカニシ、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>建網では主にスズキ(小)、マダイ、クロダイ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>中讃・高松沖のたいらぎ潜水器漁業は、1月に入ってから依然低調な漁獲が続いており30～50kg/隻・日程度である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にメイタガレイ、マコガレイ、コチ類、オニオコゼ、ウシノシタ類、フグ類、コウイカ、ガザミ、シャコ、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ、スズキが漁獲されている。</p>